

現場リーダーコース①

現場リーダーの役割と効率的な仕事のすすめ方

現場
リーダー

ものづくり，チームづくり，人づくりに 現場リーダーは中心的な役割を果たそう

現場リーダーと呼ばれる人たちは，実際に現場で仕事をしながら，まわりのメンバーや後輩たちの面倒をみるプレーヤー兼リーダーの役割を果たす存在とっていいでしょう。その立場は，組織において上下（タテ）の関係と左右（ヨコ）の関係の要の位置にあって，それぞれに影響力を発揮する職場の中堅社員の位置づけになります。

ものづくりの現場は，チームプレーによって出来高やQCD（品質・コスト・納期）の職場目標を達成しています。その中で現場リーダーは，与えられた自分の任務の成果をあげるとともに，チームとして成果を出していくことにも責任を持っています。自分の目標を達成するだけでは本来期待される目標を達成したことになりません。まして，自分のことだけに精一杯であっては，先にすすむことができないでしょう。

現場リーダーは，自ら率先垂範し，生産目標を達成することが第一です。そのためには，何よりも実務ができなければなりません。担当する仕事に関して「任せてください」と，自信を持って言えるようであればなりません。また，現場リーダーはチームの要に位置します。上司をはじめ，まわり人たちや同僚から信頼されることが大事です。後輩や新人たちからは頼りにされる存在でなければなりません。

この単元は，現場リーダーの役割と効率的な仕事のすすめ方について，その基本の考え方，行動の仕方を研究します。第Ⅰ章は現場リーダーの立場と役割について，第Ⅱ章は仕事の原則が説明されています。また，第Ⅲ章はものづくりの仕事の基本を，第Ⅳ章はチームワークの実践について掘り下げます。行動につながる原理・原則を確実にマスターしてください。

目次

はじめに	3
第Ⅰ章 現場リーダーはものづくりのキーパーソン	5
1. 仕事ができること、頼りにされること	6
2. 仕事の基本動作を確実に実行する	8
3. 報告・連絡・相談を徹底しよう	10
4. 成果をあげる責任、協力する責任	12
5. 上司に意見を述べ提案をしていく	14
6. 同僚と協調・協力するメンバーシップ	16
7. 現場リーダーのリーダーシップの発揮	18
8. 仕事だけでなく人間的にも模範に	20
* 研究課題Ⅰ	22
第Ⅱ章 職場目標の達成と現場リーダーの役割	23
1. ものづくりの仕事の流れを確かめる	24
2. ものづくりの仕事の目標とは	26
3. 出来高やQCDの目標を達成する	28
4. 「後工程はお客様」の考え方で行動	30
5. マネジメント・サイクルをまわす	32
6. 仕事の段取り（計画）と実行	34
7. 仕事のチェック、処置と標準化	36
8. 「動く」と「働く」の違いを理解する	38
* 研究課題Ⅱ	40
第Ⅲ章 ものづくりの仕事の効率的なすすめ方	41
1. ものづくりの基本は5Sの徹底	42
2. 「整理」の原則、「整理」の実行	44
3. 「整頓」の徹底、「整頓」の極意	47
4. 「清掃」の目的、「清掃」の手順	50
5. 「清潔」「躰」は現場リーダーの役割	52
6. 仕事を効率的にすすめるセオリー	54
7. 仕事の全体をつかみ確実に実行する	56
8. 基準どおりできたかどうか評価する	58
* 研究課題Ⅲ	60
第Ⅳ章 成果に結びつくチームワークの実践	61
1. チームが成り立つ条件を知る	62
2. チーム目標の達成に向けた率先垂範	64
3. 円滑なコミュニケーションの重要性	66
4. まず人（相手）の話をよく聞こう	68
5. 自分の意見をきちんと伝えよう	70
6. いろいろな立場のメンバーと協調する	72
7. 新しいメンバーに仕事を教える	74
8. チームのまとめ役を買って出よう	76
・現場リーダーの実力診断（チェックリスト）	78
* 研究課題Ⅳ	79

第Ⅰ章

現場リーダーは ものづくりのキーパーソン



1ー仕事ができること，頼りにされること

2ー仕事の基本動作を確実に実行する

3ー報告・連絡・相談を徹底しよう

4ー成果をあげる責任，協力する責任

5ー上司に意見を述べ提案をしていく

6ー同僚と協調・協力するメンバーシップ

7ー現場リーダーのリーダーシップの発揮

8ー仕事だけでなく人間的にも模範に

1

仕事ができること, 頼りにされること

一人前の戦力になっているか

現場リーダー

会社・組織における**現場リーダー**の役割は何でしょうか。現場リーダーのありようは会社・組織でさまざまですが、一般的に言って3年から5年ほど経験を積み、職場の中軸となる仕事を担っている基幹社員といふことができます。また、班長といった正式の監督職に任命される一歩前の**中堅社員**ということもできるでしょう。現場リーダーは、その名のとおりに「リーダー」としての役割、あるいは将来のリーダーとしての役割が期待される存在といふことができます。

中堅社員

一人前の戦力

それでは現場リーダーに期待されていることを考えてみましょう。何よりもまず**一人前の戦力**であることが求められます。仕事の基本行動（動作）が確実にできるとともに、ある程度の応用行動（動作）もこなせる仕事の力が必要です。「一人前」とまわりの人たちから認められる仕事ができているかどうか、まずチェックしてみましょう。

仕事ができないことには先にすみません。特に、現場の仕事は、動作まで確実にできなければなりません。まず、担当している仕事（個々の作業）について、次のどのレベルにあるか冷静に評価してください。

【レベル1】手取り足取り教えを受けている

【レベル2】指導を受けながら普段の仕事ができる

【レベル3】1人ですべてできる

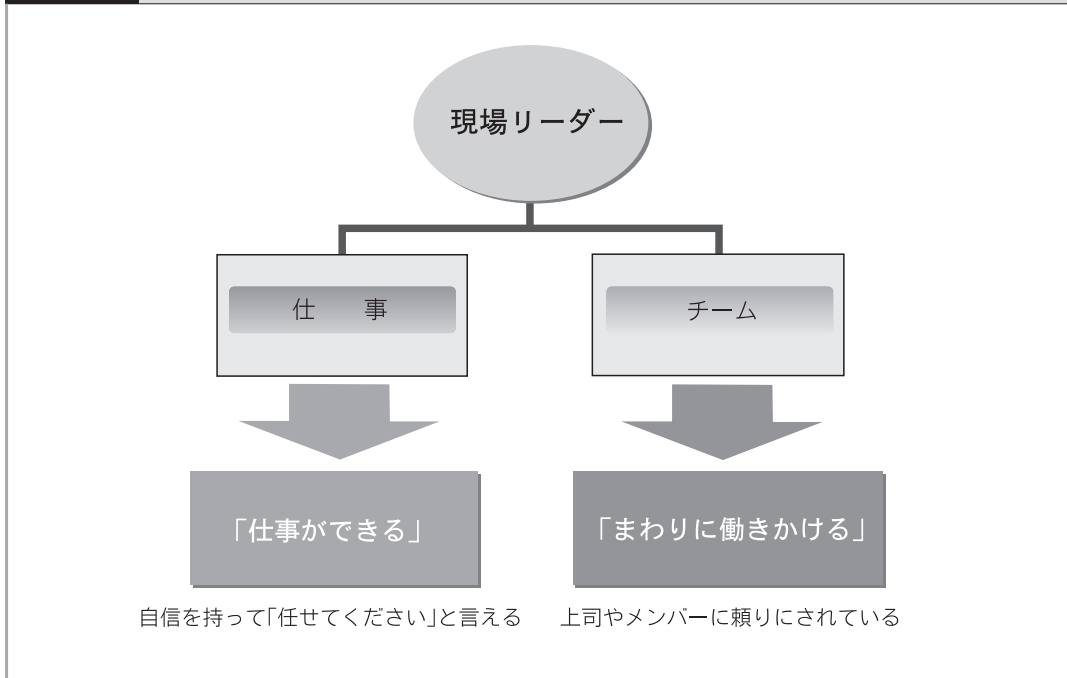
【レベル4】人にその仕事を教えることができる

仕事を教えることができる

「任せてください」

現場リーダーは担当する範囲の仕事の多くが、人にその**仕事を教えることができる**レベルにある必要があります。「仕事ができる」とは、自信を持って「**任せてください**」と言える水準です。もし不安があるようなら、いますぐにグレードアップしておくことです。新人のときのようにゆっくりしている暇はありません。

図表 I・1 現場リーダーの役割



まわりから頼りにされているか

現場リーダーに期待されるもう一つの役割は、**チームへの貢献**です。現場リーダーはチームのことを考え、後輩などの面倒を見ながら仕事をしていく立場になります。担当者として自分に与えられた仕事だけをしていればいい、という段階を早く卒業しなければなりません。

チームへの貢献

リーダーとは、指導者であり統率者です。自分の守備範囲の仕事は十分こなしながら、それに加えてメンバーに影響力を発揮し、相談相手になったり、うまくまとめたりする役割が期待されるようになります。**人間関係**について深く考え、**チームワーク**よく仕事をしていくことが必要になります。

人間関係

チームワーク

もちろん単に面倒見がいいだけでは、まわりからの信頼を勝ち取ることとはできません。自らまわりに働きかけることによって信頼は生まれます。未熟だからといって、いつまでも教えられる立場に甘んじていては将来大きく成長できません。不安があるかもしれませんが、少しずつリーダーとしての役割を果たしてみてください。上司をはじめまわりから頼りにされる存在になることが必要です（図表 I・1）。